

ごあいさつ

東京工芸大学芸術学部 アニメーション学科 講師 山中幸生

東京工芸大学芸術学部アニメーション学科・ヤマナカゼミ展2014【再生】にお立ち寄り頂き、誠にありがとうございます。5回目の作品上映・展示会となります今年度のゼミ展も毎年の恒例で、3年生ゼミ生を中心に準備を行ってきました。山中ゼミはより専門的な3・4年生のカリキュラムの中の必修ゼミのひとつです。ゼミの特徴は「デザイン」を発想の根源とし、ビジュアルコミュニケーションとしてのアニメーションを日々学んでおり、先生を始めアニメーションという表現が大好きで集まった人たちがばかりです。その中から3年生・前期「CMアニメーション」(自分で企画したオリジナル飲料CM[商品CM]、実在する企業を調べて、その活動や理念などをアピールするCM[企業CM])、後期「うたのアニメーション」、4年生が一年間掛けて取り組んだ「卒業制作」をプログラムに分けて上映を行います。どれもバラエティ豊かな作品ばかりです。その作品たちは「表現したい」という気持ちと、どうやったら「伝わるのか」という気持ちを行ったり来たり、試行錯誤させて出来たひとつの答えです。荒削りだとは思いますが、悩んだ分だけ作品たちはキラキラと輝いています。上映と併せて展示もご紹介します。厚木キャンパスで学んだ最後の3・4年ヤマナカゼミ生の作品たちをどうぞお楽しみ下さい。文末となりましたが、大変お世話になりました新宿眼科画廊のみなさまをはじめ、ご協力頂きましたすべてのみなさまに感謝申し上げます。

東京工芸大学芸術学部 アニメーション学科 3年 山中ゼミ ゼミ展委員長 中田恵里伽

山中ゼミ上映会【再生】にご来場いただきありがとうございます。5回目の山中ゼミ展となり、歴代の先輩たちを見習って私たちもよりよい作品、そして会にしようと力を合わせて準備をして参りました。今回のゼミ展のテーマ【再生】はアニメーション作品の上映を始める意味の【再生】と過去のものからより新しいものを自分たちの手で生み出す【再生】の2つの意味を掛け合わせてこのテーマに決めました。どちらの【再生】もアニメーション作品を作っている私達にとっては身近であり大切な意味を持っています。2つの意味を込めた【再生】というテーマにそった上映会にできるような心がけました。まだまだ到らない点が多い作品ですがゼミ生一同が一生懸命作った作品なので1つ1つの作品に込められたものが皆さんの心に少しでも響けば幸いです。第5回山中ゼミ上映会【再生】を心ゆくまでお楽しみください。



東京工芸大学 芸術学部 アニメーション学科 山中ゼミ作品展示・上映会『再生』

開催日時 2014/03/01(Sat)12:00-20:00
(party)17:00-20:00

03/02(Sun)12:00-17:00

会場 **新宿眼科画廊**
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-18-11

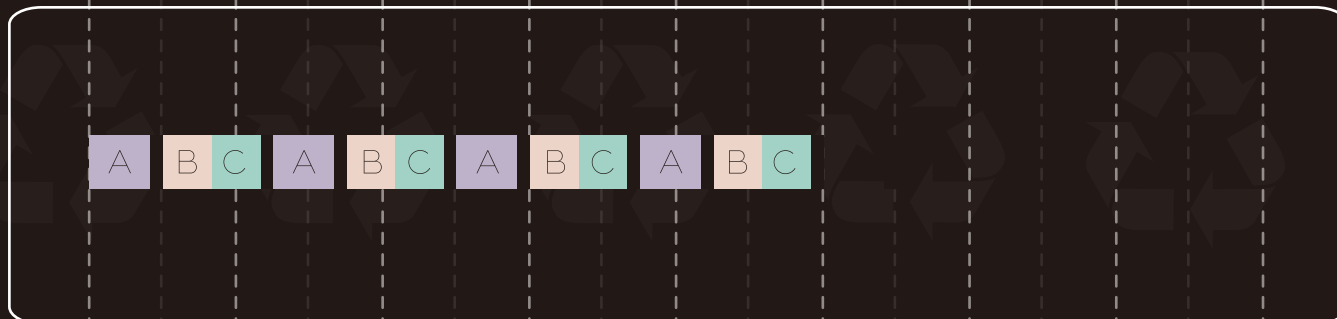
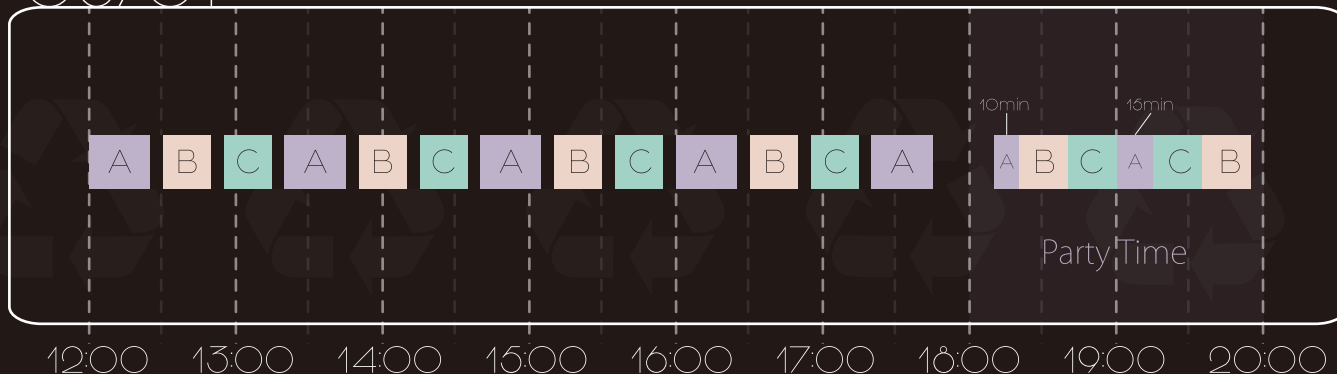
アクセス JR新宿駅東口より徒歩12分
地下鉄東新宿駅より徒歩6分
地下鉄新宿三丁目駅より徒歩7分



-saisei-

Time table

03/01



03/02

Program-B

▼4年卒業制作 I

Steppin'sounds	----	03:30	小野由了
Hole In Under The Hall	----	02:57	田中壮希
パパ一年生	----	03:12	金城用
視線の。	----	01:58	藤井愛里
Start from white paper	----	05:45	塚本恵生

Program-C

▼4年卒業制作 II

black out	----	03:02	新井大記
仮面	----	05:30	小澤広典
食欲ガール	----	01:36	小川真穂
Physical Run	----	01:52	藤田佑樹
老いてなお盛ん	----	05:30	角地拓大

Program-A

▼『企業CM』 【飲料CM】 〈うたのアニメーション〉

『LUSH』【しましま】〈南三陸ミシン工場のうた(※A)〉	—	木村早貴
『いるはず』【かぼちゃオ・レ】〈※A〉	—	久保田恵理
『サントリー』【PREMIUM TEA ROSE】〈落椿〉	—	関根瑠子
『モスバーガー』【FROZEN】〈※A〉	—	高橋紗綾
『資生堂』【SPLUSH!】〈LaLaLa〉	—	鳥屋 伶
『タワーレコード』【めんつゆ麦茶】〈BABEL〉	—	中島 渉
『スターバックスコーヒー』【桜ソーダ】〈masquerade〉	—	中田恵里伽
『フェリシモ』【Mornish】	—	吉田 優希
『資生堂』【MILC】〈Choco which drifts〉	—	本田 瑞貴
『アサヒビール』【なに!?!】〈南三陸ミシン工場のうた(B)〉	—	望月 良哉

「うたのアニメーション」ではシンガーソングライター・HARCOさんが3月5日にCDリリースをする「南三陸ミシン工場のうた」にあわせてアニメーション2作品も発表されます。この活動を広く知って頂くためのミュージックビデオ制作、という企画に古川・橋本研究室と併せた有志メンバーが集い、半期取り組んできました。先の震災で多大な被害にあった宮城県南三陸の町を歩き、そしてお母さんたちと話をしたり「お茶っこ」を感じた事と歌からのイメージを紡いだ作品となっています。3月8日に下北沢SEED SHIPにて開催されるHARCOさんのリリース記念ライブでは、ミュージックビデオの上映も行われます。是非今後の展開にもご注目下さい。

「南三陸ミシン工房」とは東日本大震災で被災した女性たちと彼女たちを支えるボランティアが、ミシンを仕事や生きがいにしていく為の「ミシンでお仕事プロジェクト」という活動を通して立ち上がった工房です。町を蘇らせたい、助けていただいた「ありがとう」を誰かにお返ししたい、という気もちで、全国からの支援金を基に配布されたミシンを使いコー針一針心をこめて毎日ミシンに向かっています。それぞれの作品には、誰が縫ったかわかる縫い手の名前入りのタグがついていて、販売価格から諸経費を差し引いた金額が、その縫い手の収入になります。※「ミシンでお仕事プロジェクト」は「ミシンがあれば、物資支援でいただいた服のサイズを調整して活用できるのに…」「育児や介護で外に働きに行けません。仮設住宅の中でミシンを仕事にできればいいな…」という被災した地域の人たちの声を受けて、誕生しました。「ミシン等の物資支援」「ミシンの技術支援」「ミシンを仕事にする自立支援や生きがい支援」という3つを組み合わせた「総合支援プロジェクト」です。長期的に活動を続けていくために、平成13年3月に特定非営利活動法人南三陸ミシン工房として新たなスタートを切っています。